

全国巨樹・巨木林の会

第32回総会で活動報告

事務局

令和7年5月17日、福島県広野町で開催された全国フォーラムでは、全国巨樹・巨木林の会第32回総会も行われ、北川会長以下4名が参加しました。

総会では、遠藤智広野町長ほかご来賓の方のご挨拶があり、高橋会長が議長を務め、提案された議題がすべて承認されました。

そして、次期フォーラム開催地奈良県天理市の岩田環境経済部長がご挨拶されました。

その後、会員からの活動報告があり、間明副会長が当会の巨樹探訪会について発表し、これまでの全探訪地の履歴や節目節目に行ってきた記念探訪会について紹介し、石川県巨樹の会が全国でも歴史ある会だとアピールしました。

この中で特にお伝えしたかったのは、昨年5月25日、26日、1泊2日で兵庫・大阪・京都を巡った35周年記念探訪会で、最初に兵庫県柏原町の「柏原の大ケヤキ（木の根橋）」を訪れましたが、ここは第1回全国フォーラム開催の地であり、ある意味巨樹の会の会員にとっては聖地であります。

今回はその当時柏原町議だった小松忠重さんに、現地で大ケヤキの解説をお願いしたところご快諾いただき、感謝ありません。

小松さんは、広野町の総会会場にもお元気な姿を見せておられ、感動の再会ができました。

前回の福井・大野大会に続いて2年連続での発表となりましたが、今後も機会があれば、このような伝統ある取り組みを紹介していきたいと思います。

